

千葉氏と城館

—住まう・治める・戦う—

開催期間

令和8年

1月23日(金)

～

3月8日(日)

【入館料無料】

掲載画像

上：漆器上人絵巻 如愚院藏「小松夜遊圖」「鎌倉の結幕」 絵巻と絵巻上(中央図書館蔵)

下：本佐倉城全体図 画像提供 通々井町教育委員会



千葉市立郷土博物館
CHIBA CITY FOLK MUSEUM

〒260-0856 千葉市中央区家園1-6-1
TEL. 222-8231 FAX. 225-7106
メールアドレス: kyodo.EDL@city.chiba.lg.jp

開館時間 / 9:00～17:00
(入館は16:30まで)

【交通案内】
○JR千葉駅下車、東口バス乗り場7番から京成バス「千葉大学病院」行きまたは「南武佐倉」行きで
「南土待特設」・千葉県文化会館」下車、徒歩3分
○千葉駅西口モビール「南土待駅」下車、徒歩13分 ○JR千葉駅下車、徒歩25分
○京成千葉中央駅下車、徒歩20分



URL

<https://www.city.chiba.lg.jp/kyodo/>

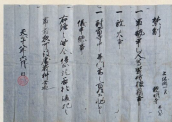
千葉氏と城館 — 住まう・治める・戦う —

「お城ブーム」といわれるように、城は歴史の人氣ジャンルの一つです。これまでは、天守閣と石垣に代表される近世城郭に集まっていた人々の興味と関心が、今は土着りの中世城郭についても向けられています。このような中世城郭を巡る人々の関心の高まりや中世城郭研究の著しい進展を鑑みれば、「城」という観点から、中世という時代を通じて活躍した千葉氏に光を当てることには大きな意義があります。

本展では、武士の城館が有した「住まう」「治める」「戦う」の3つの視点を通して、中世における千葉氏の屋敷と城郭の様子を明らかにします。様々な資料により、千葉氏の歴史における城館の果たした役割と意義について紹介します。



大須賀高信判書 慶通寺蔵



最良寺古筆制 観明寺蔵



白磁皿(尾井堀/内蔵跡出土)
千葉県教育委員会蔵



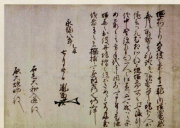
西郷氏庭跡出土遺物
堀川市郷土資料館蔵



千葉集抜粋 個人蔵



千葉風宮木像 西宮寺蔵



千葉風宮判物(源文書) 昌隆蔵



漆椀
(大崎城跡出土)
香取市教育委員会蔵



下駄(大崎城跡出土)
香取市教育委員会蔵

歴史講座

「千葉氏と城館 — 住まう・治める・戦う —」

【日時】 2月28日(土) 13:00~16:00

【会場】 千葉経済大学2号館大講義室(2-101教室)

【演題及び講師】

演題: 西側からみた下総の戦国後期 講師: 中山文人氏(和戸市立博物館学芸員)

演題: 鎌倉・南北朝時代の千葉氏の屋敷そして城 講師: 遠山成一氏(千葉経済大学講師)

【募集定員】 200人(応募多数の場合抽選)

2月12日(木)までに電子申請が往復はがきで申し込み

アクセスマップ

